

第5回「消防力の維持・強化のための消防体制の構築に関する検討会」
議事概要

1 日時：2023年6月2日（金）15:00～17:00

2 開催方法：Web会議形式

3 出席委員（五十音順）

磯打 千雅子	香川大学創造工学部特命准教授
井田 知也	近畿大学経済学部国際経済学科教授（欠席）
伊藤 正次	東京都立大学大学院法学政治学研究科教授
大石 健二	北海道とちかち広域消防局長
角田 悠紀	富山県高岡市長（代理出席 高岡市消防本部有澤次長）
木村 俊雄	神奈川県寒川町長
西 俊光	大阪府危機管理室長（欠席）
(座長) 原田 久	立教大学法学部教授
廣井 悠	東京大学先端科学技術研究センター教授
福田 和幸	熊本県熊本市消防局長（代理出席 平井総務部長）
本山 和平	高知県高知市消防局長
山崎 剛	茨城県防災・危機管理部長（代理出席 館消防安全課長）

オブザーバー

吉田 敏治	全国消防長会事務総長
-------	------------

4 議事経過

- (1) 開会
- (2) 議事
 - (i) 消防力の維持・強化のための消防体制の構築に関する検討会報告書（案）について
 - (ii) 意見交換
- (3) 閉会

5 議事概要

(i) 消防力の維持・強化のための消防体制の構築に関する検討会報告書
(案) について

資料に沿って事務局が説明

(ii) 意見交換

- 広域化による懸念に対して、その懸念を払拭するだけでなく、その根底にある課題への対応が必要ではないか。
- 長期的なスパンで見た場合に広域化についてどこまで目指し続けるべきかについては、もう少し先の課題として見据えておかなければならない。
- 消防庁が積極的に広域化の検討を進めるサポートをしていくことも非常に重要である。
- 地域住民や地域社会の目線から見たときに消防の広域化は非常に重要な内容であるため、地域に対しても開かれた形で広域化の議論をしていくことも重要だと思う。
- 将来を見据えた場合、消防だけでなく地域サービスを維持するという観点からも、人口減少の問題を非常に深刻に受け止めなければならない。その中で消防力を維持していくためには、大胆な方策を考えなければならず、広域化を目指すという方向は維持しつつ、連携・協力の在り方を実質化することが望ましいと考える。
- 消防本部の懸念以外にも実質的に広域化を阻む要因があり、それに対して、国や都道府県による支援を行うことを明確にしていくべきではないか。

以上